委 員 会 会 議 録

（一社）滋賀県トラック協会

会 議 名	平成２７年度 第１回 成長戦略委員会
開催日時	平成２７年５月１３日（水）　１０：００～１２：００
開催場所	滋賀県トラック総合会館　２Ｆ「特別会議室」
出 席 者	委員５名、事務局４名

協　　議　　内　　容

定刻１０時より開会。

開会にあたり田中会長から去る１１日の交通安全びわ湖キャラバン隊協力に対するお礼の言葉があり、引続いて外村委員長からあいさつの後、議事進行された。

（１）「物流キャリア教育」実施に向けた打合せ会議結果について

事務局中野から資料１により打合せ会議の内容について報告があり、続いて委員長及び会長から補足があった。

また、倉庫協会会長でもある淺野委員より６月に高校就職担当の先生を迎え業界説明会を実施する。その際、青年協議会が見学にくることになっている。今後、県商工労働部とも協力要請を行っていきたいと述べられた。

会長からこの事業については近畿運輸局でも注目されている。国交省からも各運輸支局長に対し高校訪問活動について指示が出ており、協力しながら進めて行きたいと発言された。

（２）観光物産ＰＲについて

大黒参事から参考資料「滋賀にキラリ輝く七つ星事業」によりラッピングトラック、高速道路ＳＡ・ＰＡでの観光物産ＰＲについて説明があった。続いて会長から補足があり、今後、県の窓口を決めてもらい進めることになった。

また、会長から実施内容が決まれば協会としては広報推進委員会が担当することになるが、女子部会、青年協議会にも協力を得実施していきたいと述べられた。

その他、次の意見があった。

・　ラッピングトラックのラッピングは物産と観光を一緒に掲載するとおかしなものになる。
・　ラッピングトラックは県との協定を結ぶ必要がある。
・　観光物産ＰＲについて、今年度は県も恐らく予算を組んでいないので、現在あるチラシやモノでＰＲしなければならないと思われる。

・　明日から始まる高速道路ＳＡ・ＰＡでの交通安全啓発の際、ＮＥＸＣＯの所長にＳＡ・ＰＡの使用について事前に話をする。又、都合によっては交通安全の啓発の際、同時に行うのではなく、単独で行うことも考えなければならない。

（３）今後の協会事業について

事務局中野から参考資料２により昨年度の協会事業、今年度行う事業について説明を行った。

続いて委員長から今後、協会として必要でない事業、又必要となる事業について意見を求められ、次の発言があった。

・　協会は事業が多過ぎる。

・　もりやま環境フェアは昨年でやめる。

・・・先日、守山市にやめることを伝えに行ったが、何らかの形、例えばテントを張って協会事業のＰＲをするなど出来ないかと言われた。

会長からこの件について、先ずは正副会長会議で検討していきたいと述べられた。

・　やめる事業として考えられるのはグリーン・エコプロジェクトではないか。

・　この事業については現在事務局で数を増やしてもらっているが、まだまだ参加事業者は全会員から見ると一部である。費用対効果も考える必要がある。

・　自社でデジタコ管理を徹底したり、グリーン経営を持って行っているので社員には同じ様なことを行うのは負担になるのでやめて欲しいと言われている。

・　手間はかかるがプラスにはなっている。

・　今年度からＧマークの加点ポイントとして１１項目中、３項目に使えることになった。

・　もっと使用できる項目を増やせないか。Ｇマークの加点ポイントになることをもっと前面にＰＲすれば会員からも理解してもらいやすく、参加者も増えるのではないか。

会長から９月の事故防止大会終了後、経営者に対するアンケートを取り今後の推移を見守りながらグリーン・エコプロジェクトを今後も継続していくかについては審議してもらいたいと述べられた。

その他、減らす事業、増やす事業については今後も引き続き検討していくこととなった。

（４）その他

会長から県より琵琶湖環境ビジネスメッセでブースを出して欲しいと聞いている旨報告があった。

その他、出席委員から国交省は CNG 燃料を推しているが、県は水素燃料に向いているとの発言がった。

次回委員会　　平成２７年９月１６日（水）１３時３０分～　於：滋賀県トラック総合会館